

令和4年度 大阪府立桜塚高等学校 第2回 学校運営協議会

令和4年 10月 14日 (金)

校長

委員 武庫川女子大学副学長、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、
尚和会会長、桜援会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、指導教諭、教務主任、生徒指導主事、自治会部長、進路指導主事、
保健部長、各学年主任、書記

1 校長、会長 挨拶

省略

2 報告

(1) 生徒の活動状況について

① 進路状況 (資料1)

・74期生進路状況について

国公立大学の合格者数が増加。13人の合格者数はここ3年では最多。共通テストに出願した生徒が増加。コロナの影響もあると考えられる。今年度(75期生)は200名を超える生徒が共通テストを受験予定。全国的に見ても一般入試を待たず、年内に大学入試を受験する生徒が増加傾向。本校生徒もその傾向がよく見られる。

(質疑)

Q、共通テストの問題について、これまでにない問題がでてくることもあり、予備校に通っていないと厳しい。学校としての対策は？

A、学校だけで全てを補うことは厳しいが、2年目ということもあり、今ある情報で問題演習をし、共通テスト対応している問題集を採択し対応している。

Q、今年度の生徒の大学入試の状況の様子はどうのようなものか。

A、周囲に公募制推薦入試を受ける生徒がいるので、それに感化され受験する生徒も見受けられる。

② 部活動・行事等 (資料2)

・部活度加入率について

ここ3年は増加している。

・行事について

コロナ以前の形に戻しつつある。生徒の満足度も上がっていると感じている。保護者招待も昨年度より制限を緩和したこともあり、来場者数が増加した。

・自治会役員選挙について

G o o g l e フォームなどを使用し投票した。

【質疑】

Q、G o o g l e フォームの集計に問題はないか。

A、自動で集計するため、数え間違えなどミスはない。

Q、部活動の部員数が減少している部もあるが、何か対策はあるか。

→これまでは地域連携を行っていたが、コロナもありなかなか実施できていない。部活動によって得られるものを生徒に伝えていってほしい。

A、ラグビー部など他校と合同チームを組みながら、現在の部員の活動に支障がないようにしている部活もある。部員数がいなくなり活動できない部活もあるが、今後も粘り強い勧誘活動を続けていく。

③ 生活指導状況

(資料3)

・遅刻数

遅刻数が減少している。今後は遅刻指導について目標を達成するために遅刻防止週間を設け、減少につなげていく。

・服装

77期生から制服を変更。LGBTの観点からも変更している。

・挨拶

生徒自らが挨拶をすることを目標にしている。挨拶運動なども実施していく。

【質疑】

Q、コロナ禍ではあるが留学生は受け入れているのか。

A、入国制限の緩和もあり、今年度は4名受け入れている。2年生2名。1年生2名。

これまでに受け入れた留学生の中には日本で活躍している生徒もいる。

④ その他

・R4年度学校運営計画の進捗状況

ICT活用などに注力している。直近の調査ではICT使用率もかなり増加。

・働き方改革

業務の平準化が課題。担任、分掌長に負担が偏っている。今年度は担任の仕事を副担任に分担するなどして対応中。

・眼科検診、耳鼻科検診を今年度から実施。

抽出して60名程度の生徒が受診。

・授業アンケート

全体平均も上がっている。教員の頑張りが見える。

・教科書採択について

77期生から新カリキュラムになっており、従来の教科書と大きく変更する。

・修学旅行のアレルギーがある生徒の食事について

ホテルから出された食事にアレルギー反応があるものが提供され、食べた。旅行会社や宿泊先とも密な連携を取っていたが、誤って提供されてしまった。ホテル側の確認や旅行会社の確認に不十分な点もあり、今後は更なる管理体制が必要で

ある。

・オープンスクール

昨年度と違い、生徒も案内役となって学校の紹介をすることにした。1回目のアンケート結果もよく、在校生の声も聴けたのでよかったというものもあった。

→受験する側としては、在校生の声が聴けることは非常にありがたい。続けてほしい取り組みである。

(質疑)

Q、大学などはリモート授業などを実施しているが、コロナ禍においても教室授業を実施しているか。

A、している。学校内での感染はほとんどなく、感染者の感染経路も宿泊を伴う部活動などがほとんどである。

Q、人権学習はどのようなものを行っているか。

A、1年生はグローバル社会について、2年生はLGBTについて、3年生は成人年齢引き下げに伴う選挙についての学習や、同和教育を実施。

Q、教科書の中には、日本の国防について言及しているものはあるのか。

→真実を生徒に伝えてあげたい。歴史の問題は立場によって変わるので教えることも難しいはず。関心をもってほしい。

A、教科書に関しては、領土問題に触れていないと、文科省の許可が下りないため必ず記載されている。

Q、SNSの使用についてトラブルはないのか。

A、入学時に無断で写真を載せることの危険性などを指導したが、今年度も無断で載せることが発生した。再度学年全体に指導したが、未然防止はなかなか難しい。今後も粘り強い指導が必要。

Q、授業アンケートの項目は例年同じものか。

A、変更している。府として共通の項目もあるが、ICT活用などの項目も追加している。

次回(第3回) 予定

1月 27日(金) 15:00～(予定)